

【C年】

聖霊降臨後第三主日

特定八

神よ、あなたは天地万物をみ節理のうちに治めておられます。どうか、わたしたちを害する肉の行いを聖霊によつて除き、み心に従つて良い行いの実を結ぶことができるようにしてください。主イエス・キリストによつてお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書は列王記上第十九章十五節から」

15 主はエリヤに言われた。「行け、あなたの来た道を引き返し、ダマスコの荒れ野に向かえ。そこに着いたなら、ハザエ

ルに油を注いで彼をアラムの王とせよ。16 ニムシの子イエフにも油を注いでイスラエルの王とせよ。またアベル・メホラのシヤファトの子エリシヤにも油を注ぎ、あなたに代わる預言者とせよ。

19 エリヤはそこをたち、十二軛の牛を前に行かせて畑を耕しているシヤファトの子エリシヤに出会った。エリシヤは、その十二番目の牛と共にいた。エリヤはそのそばを通り過ぎるとき、自分の外套を彼に投げかけた。20 エリシヤは牛を捨て、エリヤの後を追ひ、「わたしの父、わたしの母に別れの接吻をさせてください。それからあなたに従います」と言った。エリヤは答えた。「行つて来なさい。わたしがあなたに何をしたというのか」と。

21 エリシヤはエリヤを残して帰ると、一軛の牛を取つて屠り、牛の装具を燃やしてその肉を煮、人々に振る舞つて食べさせた。それから彼は立つてエリヤに従ひ、彼に仕えた。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第十六編 五十一節

5 主よ、あなたはわたしの受ける譲り、わたしの受ける杯

6 測り縄はわたしのために良い所に落とされた＝ わたしの受けたものはすばらしい

7 わたしに勧めを与えてくださった主をたたえよう＝ 夜

8 わたしは深く悟る

9 わたしは絶えず主を思う＝ 神はわたしの右におられ、わたしは揺るがない

10 心は喜びに満ち溢れ＝ 体は安らかに憩う

11 神よ、あなたはわたしを死の国に見捨てられず＝ あなたを敬う人が朽ち果てるのを望まれない

12 あなたは命の道を示してください＝ み前には溢れる喜び、みもとには永遠の楽しみがある

使徒書

朗読者 「使徒書はガラテヤの信徒への手紙第五章一節から」

1 この自由を得させるために、キリストはわたしたちを自由の身にしてくださったのです。だから、しっかりしなさい。奴隷の軛に二度とつながれてはなりません。

13 兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。

14 律法全体は、「隣人を自分のように愛しなさい」という一句によって全うされ

るからです。15 だが、互いにかみ合い、共食いしているのなら、互いに滅ぼされないように注意しなさい。

16 わたしが言いたいのは、こういうことです。霊の導きに従って歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。17 肉の望むところは、霊に反し、霊の望むところは、肉に反するからです。肉と霊とが対立し合っているのです、あなたがたは、自分のしたいと思うことができないうのです。18 しかし、霊に導かれているなら、あなたがたは、律法の下にはいません。19 肉の業は明らかです。それは、姦淫、わいせつ、好色、20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、怒り、利己心、不和、仲間争い、21 ねたみ、泥酔、酒宴、その他このたぐいのものです。以前言っておいたように、ここでも前もって言いますが、このようなことを行う者は、神の国を受け継ぐことはできません。22 これに対して、霊の結ぶ実（み）は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、23 柔和、節制です。これらを禁じる掟はありません。24 キリスト・イエスのものとなった人たちは、肉を欲情（よくほう）や欲望（よくぼう）もろとも十字架につけてしまったのです。25 わたしたちは、霊の導きに従って生きているなら、霊の導きに従ってまた前進しましょう。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ルカによる福音書第九章五節以下に記された主

イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

51 イエスは、天に上げられる時期が近づくと、エルサレムに向かう決意を固められた。52 そして、先に使いの者を出された。彼らは行って、イエスのために準備しようと、サマリヤ人の村に入った。53 しかし、村人はイエスを歓迎しなかった。イエスがエルサレムを目指して進んでおられたからである。54 弟子のヤコブとヨハネはそれを見て、「主よ、お望みなら、天から火を降らせて、彼らを焼き滅ぼしましょうか」と言った。55 イエスは振り向いて二人を戒められた。56 そして、一行は別の村に行った。

57 一行が道を進んで行くと、イエスに対して、「あなたがおいでになる所なら、どこへでも従って参ります」と言う人がいた。58 イエスは言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巢がある。だが、人の子には枕する所もない。」59 そして別の人に、「わたしに従いなさい」と言われたが、その人

は、「主よ、まず、父を葬りに行かせてください」と言った。60 イエスは言われた。「死んでいる者たちに、自分たちの死者を葬らせなさい。あなたは行って、神の国を言い広めなさい。」

61 また、別の人も言った。「主よ、あなたに従います。しかし、まず家族にいとまごいに行かせてください。」62 イエスはその人に、「鋤に手をかけてから後ろを顧みる者は、神の国にふさわしくない」と言われた。

司祭 「主に感謝」
会衆 「主に感謝します」